

青年部通信

災害に備える II 呉市 天応 理容「さわだ」



山の裾野に栄えた天応西条地区は、大屋大川へと合流する大屋川と背戸川の 2 本の支流に挟まれ、普段は穏やかに流れる川のせせらぎを聴きながら生活している。県道から川に架かる桁橋を渡って店舗という地形に立ち創業 35 年を数える理容院「さわだ」だが、降り続いた雨に 7 月 6 日夕方過ぎて異常な事態に陥った。19:10 呉市内全域に避難勧告が発令されたが、目の前を流れる大屋川は増水し、桁橋にぶつかり水柱が立っていた。避難は危険と判断し、店舗 2F の住居に留まることにした。

19:40 気象庁から大雨特別警報が発表され 21:05 呉市内全域に避難指示が発令されたが、地震が起きたかのような揺れと轟音と共に上流で発生した土砂崩れが川を埋め、さらなる大量の土砂・岩・流木などが県道を埋め尽くし家々を襲った。停電にはならなかったが水は止まった。

夜が明けると見えてきたのは轟音とともに濁流に揉まれる町の景色。1 日経って徐々に水位が下がり始めると外は土砂と瓦礫の山、その土砂に突き立てられた車、抉り取られたアスファルト、見たこともない惨状だった。

2 日目ようやく外に出られたので、裏の山手を通り親戚の安否確認に向かった。外を流れる水は 3 日目を過ぎたあたりから土色から澄んだ色に変わってきたので、先ず手に付けたのは泥まみれの店舗の清掃。店舗内は膝より上まで浸水した様子で、外の川の上流側は子供の背丈ほどの土砂や瓦礫が堆積していたが、勝手口は破られておらず土砂の流入は無く、川の水を勝手口から引き込んで洗い流した。

上下水道の復旧は当然先になりそうなので、災害以前から仮設的に使用していた地下水を汲み上げるポンプをメインで使えるよう大型の物に交換してもらった。下水は行政と相談し、仮設管を組んで対応した。

片付け復旧作業をしながら 1 週間が経った昼過ぎ、突如避難指示が発令され、近所の神社に避難を余儀なくされた。上流で土砂崩れが川を堰き止め、決壊の恐れがあるとの事であった。

災害発生から 2 週間で営業再開する事が出来たが、ガス給湯機・エアコン室外機は水没し、目の前の県道が復旧するまで修理は難しく、その間エアコン無しで真水シャワーで我慢していただいた。住所を知っているお客様には直接挨拶に行き、現状と設備の復旧見込みを伝えた。こんな状況にも拘らず、お客様は来店して下さいました。

災害発生から 3 週間目、今度は台風の接近で避難勧告が発令され、2 度目の避難所へ。夜になっても避難勧告は解除されず、避難所で一晩過ごした。今の場所に留まるべきか移転すべきか考え込んだが、移転しゼロから出発するよりも、こんな状況でも避難所から避難先から仮設住宅から通ってくれるお客様と地域の復興を歩んで行こうと、決意したのはもう少し後になってから。

5 週目にしてようやく道路が仮復旧し、車両の往来が可能になりエアコンの室外機も直して貰い、町の復興も進むと思われたが、進むのは家屋の解体ばかりで、半年過ぎた今でも解体工事の順番を待っている家が少なくない。先日も住居が被災した常連客に、家を修繕して住むべきか解体して他所へ移り住むか家族で意見が割れて悩んでいると相談を受けた。夜になると分かるのだが、当理容院以外の住居の灯りは灯っておらず、自宅に戻っていない世帯が殆んどで、この場所に残って理容院を続けると決心したものの不安は払拭しきれないでいる。しかし今回店舗の修繕に協力してくれたのはお客様でもある地元の仲間達。他所の土地に移転するより育ててきた繋がりを大切にしようと思わせさせて貰った要因の一つになっている。

西日本豪雨災害で店舗復旧にかかった費用は 250 万円ほど。住居部分の修繕を入れると 300 万超。1F が店舗で 2F が住居という造りになっているのだが、空調・給湯機などは建物の一部とみなすらしく、



共済ワイドプランの適用外になる物があり、借り店舗か所有物件かで保険適用には注意が必要。また一度水没した機器は、洗い流して使えたとしても後から後から壊れていく。(水没してキレイに洗浄した自動車が後日発火したという報道もあるので、使わない方が良いと思われる。)

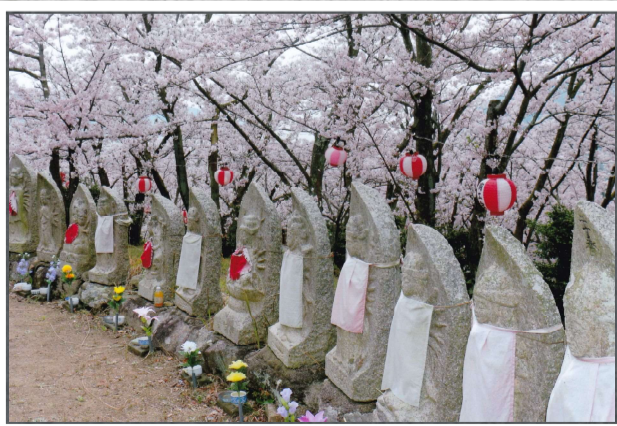
行政からは固定資産税・都市計画税の減免、納期の延長、市民税の減免、納期の延長、税金の徴収猶予、国民健康保険料の減免、上下水道料金等の免除などの被災者支援を受けられたが、税金納付期限の延長は無利子での延長というだけで、後ほど纏めて請求が来た。(自治体により罹災補助の内容が変わるので、要確認。)

今回の災害で、大屋川流域は避難中に亡くなられた方が多く、背戸川流域は自宅に残って亡くなられた方が多い。日頃から今の住居・店舗がどんな場所に建っているのか、いち早く異常を察知する警戒心が求められる。

青年部新年会を 1 月 28 日 (月) 流川の「まめひと」にて行いました。



「カープ坊や」(折り紙)
竹原支部 本田 啓子



「桜を見守るお地藏さん」(写真)
竹原支部 本山 芳枝



私の力作